



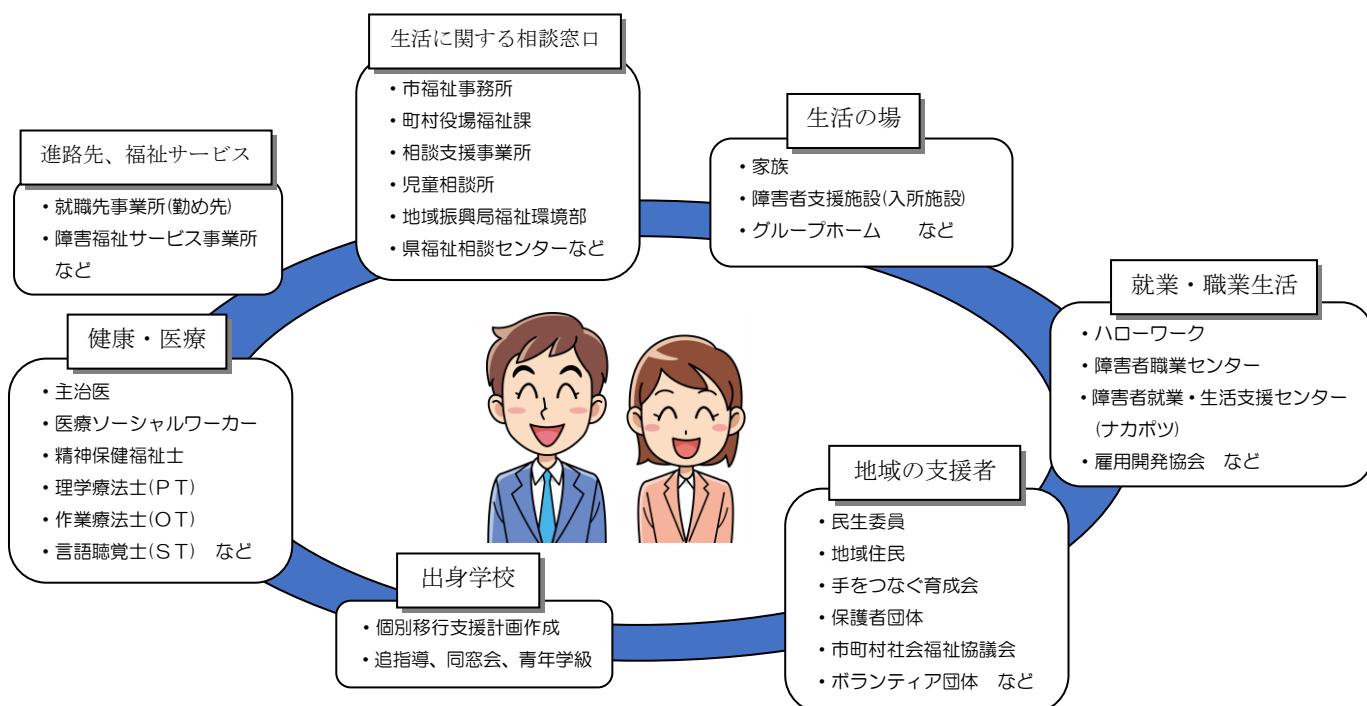
## 『働きたい』『暮らしたい』を叶える「いーなミーティング」

7月7日（火）に高等部3年生の生徒と保護者を対象に、「いーなミーティング」が行われました。高等部卒業を機に、学校生活から社会生活に移り変わる時期を「移行期」といいます。この会議は、その移行期に様々な支援をしてくださる関係機関（応援して下さる福祉や労働等の関係者の皆さん）に集まっていただき、高等部3年生が、自己紹介や進路希望を発表することで、お互いに知り合い、関係を築くことを目的としています。

生徒たちは、大変緊張していましたが、自分自身の夢や、そのために現在頑張っていることなどを発表することができました。また、就職や一人暮らし、余暇の過ごし方、福祉サービスのことなどについて疑問や不安、意見などを伝えることができました。将来の社会参加に必要な知識を得ると同時に、相談できるところが多くあることを知ることができた大変貴重な機会となりました。



### 移行期から卒業後の生活を支えるネットワーク



会議に参加していただいた関係機関は、次のとおりです。

**労働** : 湯沢公共職業安定所、湯沢雄勝障害者就業・生活支援センターぱあとなあ

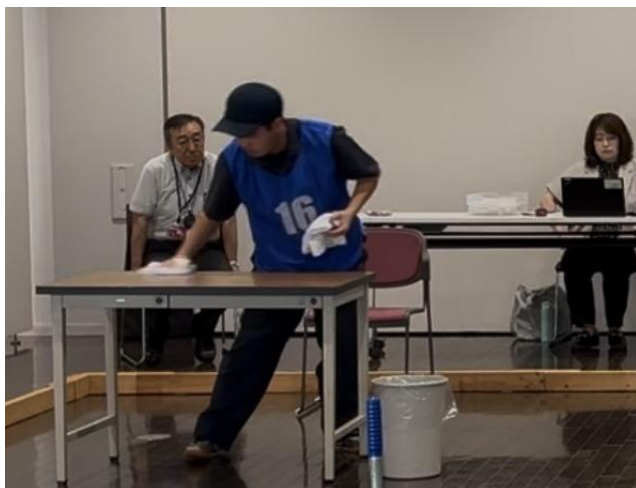
**総合的な相談窓口** : 湯沢市基幹相談支援センター

## アビリンピックあきた2026

7月9日（木）に、秋田市にぎわい交流館AUにて、アビリンピックあきた2026（第25回秋田県障害者技能競技大会）が行われました。この大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方々に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的としています。競技種目は、喫茶サービス、ビルクリーニング等、秋田県では8種目の競技が行われています。

本校高等部からは、喫茶サービス部門に1名、ビルクリーニング部門に2名、計3名の生徒が参加しました。前期実習等、行事や日頃の学習と並行しながら、生徒たちは真剣に練習に取り組んできました。

迎えた本番、一人一人が練習の成果を出し切りましたが、惜しくもあと一步メダルには届きませんでした。競技に大切な「元気な挨拶」や「笑顔」を忘れず、最後まで精一杯取り組むことができました。大会に向かって目標をもって真摯に取り組んだり、当日は他の選手たちからよい刺激をたくさんもらったりしたことはとてもよい経験となったことでしょう。忙しい中頑張ってきた3人の生徒に大きな拍手を送りたいと思います。



ビルクリーニング競技



喫茶サービス競技



みんな頑張りました！  
お疲れさまでした。